

当別町道の駅 基本設計  
概要版

平成 27 年 5 月

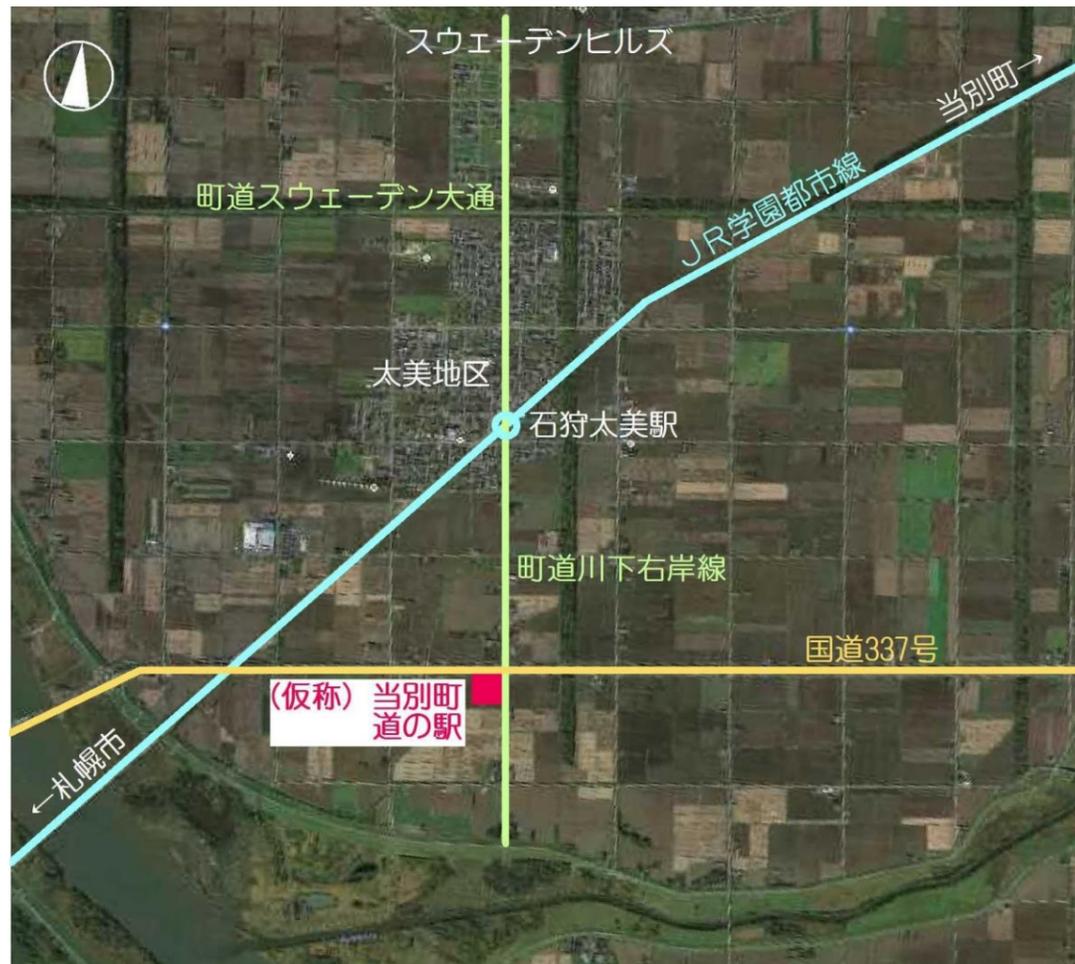
当別町

## 目 次

1. 計画概要.....	1
2. 施設コンセプト.....	1
3. 計画鳥瞰図.....	2
4. ゾーニング図.....	3
5. 配置計画図.....	4
6. 平面計画図.....	5
7. 施設規模想定.....	6
8. イメージパース.....	7

## 1. 計画概要

- (1) 所在地 石狩郡当別町当別太 774-1、774-3、774-4、774-5
- (2) 敷地面積 24,501 m<sup>2</sup>  
※北海道開発局の用地測量の成果により若干の異動が生じる場合がある。
- (3) 用途地域等 都市計画区域内（非線引地域）、用途地域指定なし  
建ぺい率 60% 容積率 200%
- (4) 地勢 おおむね平坦地
- (5) 周囲の状況 国道 337 号（将来 4 車線）と町道川下右岸線交差点の南西角地
- (6) 概算工事費 997,843,200円（内建築費、798,323,200円）



## 2. 施設コンセプト

### 「(仮称) 当別町道の駅」について

当別町は農業を基幹産業とし、その背後には道民の森など広大な森林資源を抱えた豊かな自然に恵まれた町である。その自然の恵みからは各種名産加工品などが生み出されている。

それらは、当別町内はもとより町外及び道外にまで出荷され、当別町の大きな魅力になっている。

また、大都市札幌に隣接する立地条件から町民の意識には都会的な感性も大いに感じられる。本計画ではその「当別」らしい風土性、地場性を生かし「当別」の持つ豊かさを集約、表現し、道の駅本来の基本的機能（道路交通情報、24時間トイレ）に地域振興機能を付加させることで国道 337 号を利用する方々に「当別」を発見してもらう施設として整備してゆく。

当計画地は、当別町の中心からやや離れ、札幌と千歳を繋ぐ国道 337 号と太美地区、スウェーデンヒルズに至る町道川下右岸線（17 線）の 2 つの重要な軸線の交点に位置している。

さらに北側には JR 学園都市線が斜行しそのまま当別駅へ繋がる。

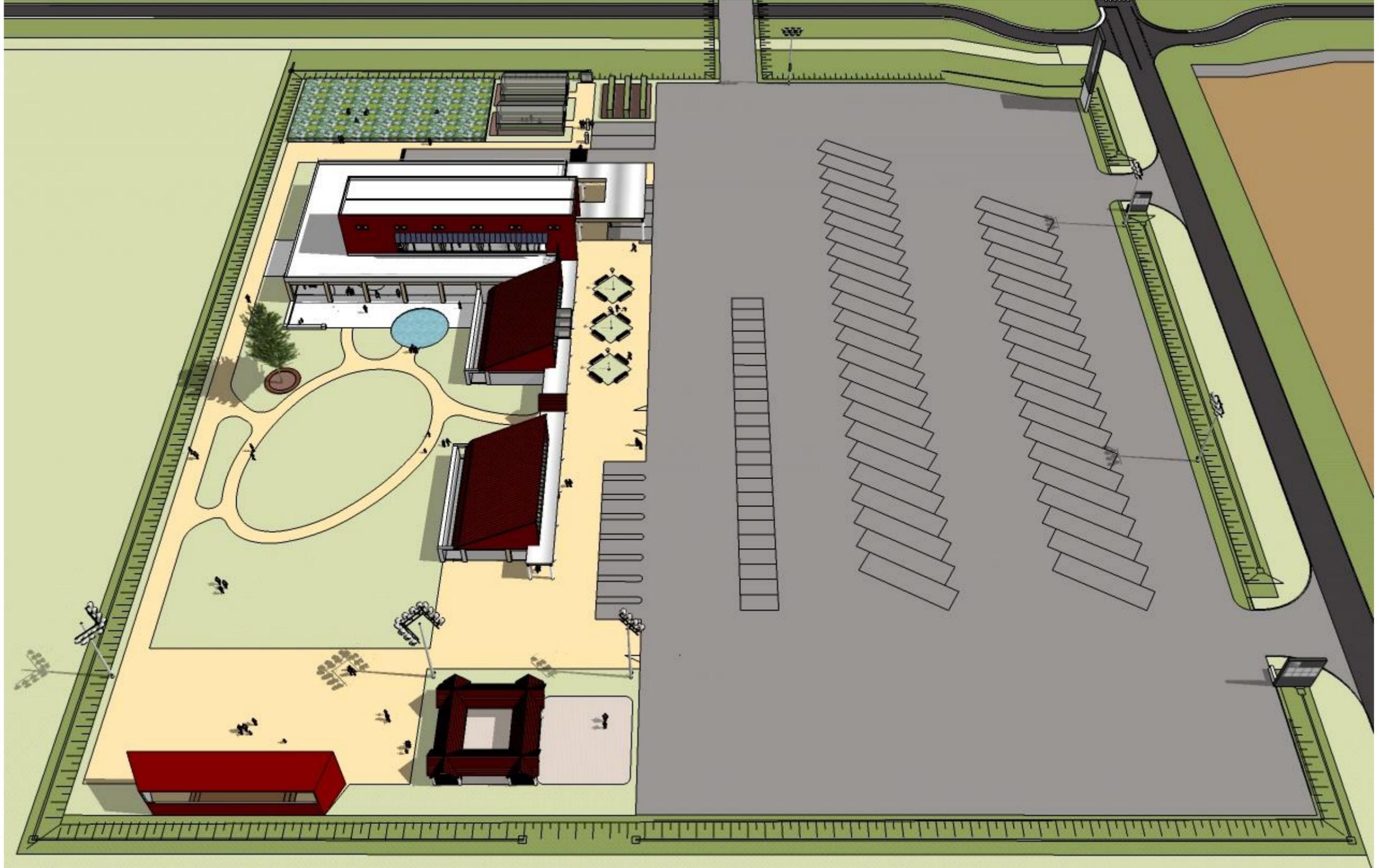
周辺には高い建物が一切なく東西方向、南北方向に伸びる防風林に囲まれた豊かな田園風景が広がっている。

本施設は小樽・札幌方面から当別町への玄関口に位置づけられる為、当施設が当別町特産品や工芸品の持つイメージを十分に表現している必要がある。それは単に「豊かさ」や「ぬくもり」だけでなく、「都会的テイスト」を加えたものになる。

それらを体現するために、敷地全体を「パーク」ではなく「ガーデン」「広場」として整備し、訪れる人びとが親しみを持てるように配慮する。使用する素材も豊かな森を感じさせる木材としつつ、都会の雰囲気を持ちながらも素朴で親しみやすい、多くの人に未永く愛されていく施設としていく。

施設は道の駅本体、24 時間トイレ、直売所の 3 つの要素で構成される。

3. 計画鳥瞰図



#### 4. ゾーニング図

##### 【ゾーニング】

###### ●エントランスゾーン

＜メインの出入口となる空間＞

- ・走行中のドライバーを道の駅へと誘うとともに、園内へと迎え入れる植栽
- ・町の木であるシラカバによる並木とユリやヒマワリなどによる沿道の花壇

###### ●広場ゾーン

＜3つの広場から構成される空間＞  
(イベント・交流・水)

- ・イベント開催などにも考慮した開放的な空間を演出する植栽
- ・居心地の良い空間づくりのための修景や緑陰を提供する植栽
- ・芝生を中心とし、緑量のあるヤチダモ、サクラやツツジなどの花木、プンゲンストウヒなどによるシンボルツリー

###### ●ガーデンゾーン

＜彩りの空間＞

- ・四季を通じて、空間に華やかさや彩を与えると同時に、花卉生産の盛んな当別町をPRする植栽
- ・亜麻や町の花であるカスミソウなどを中心とする花の庭

###### ●道の広場ゾーン

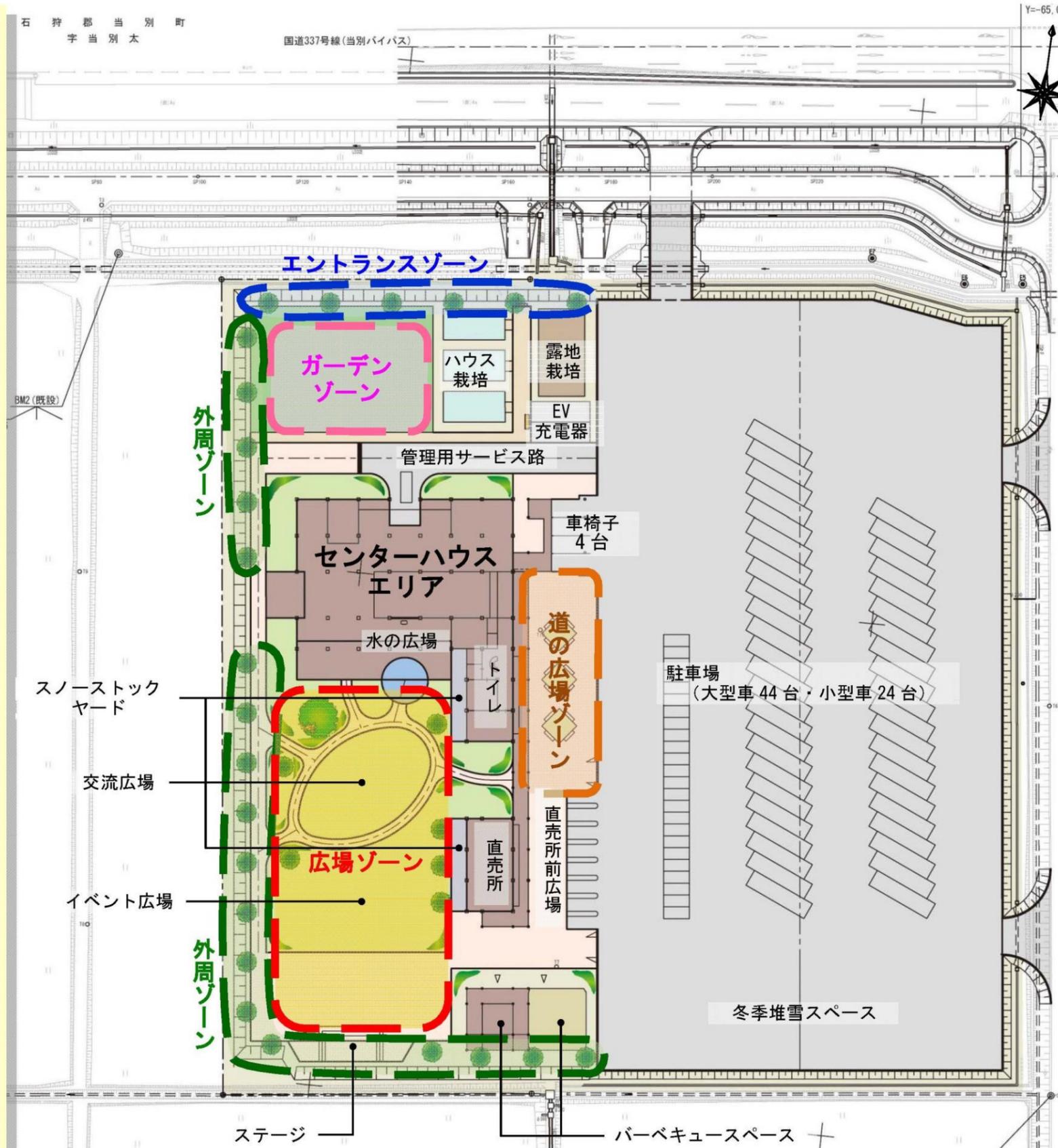
＜休憩や待合わせの広場空間＞

- ・建物と調和する植栽
- ・プランターなどを利用した前庭

###### ●外周ゾーン

＜境界・縁取りの空間＞

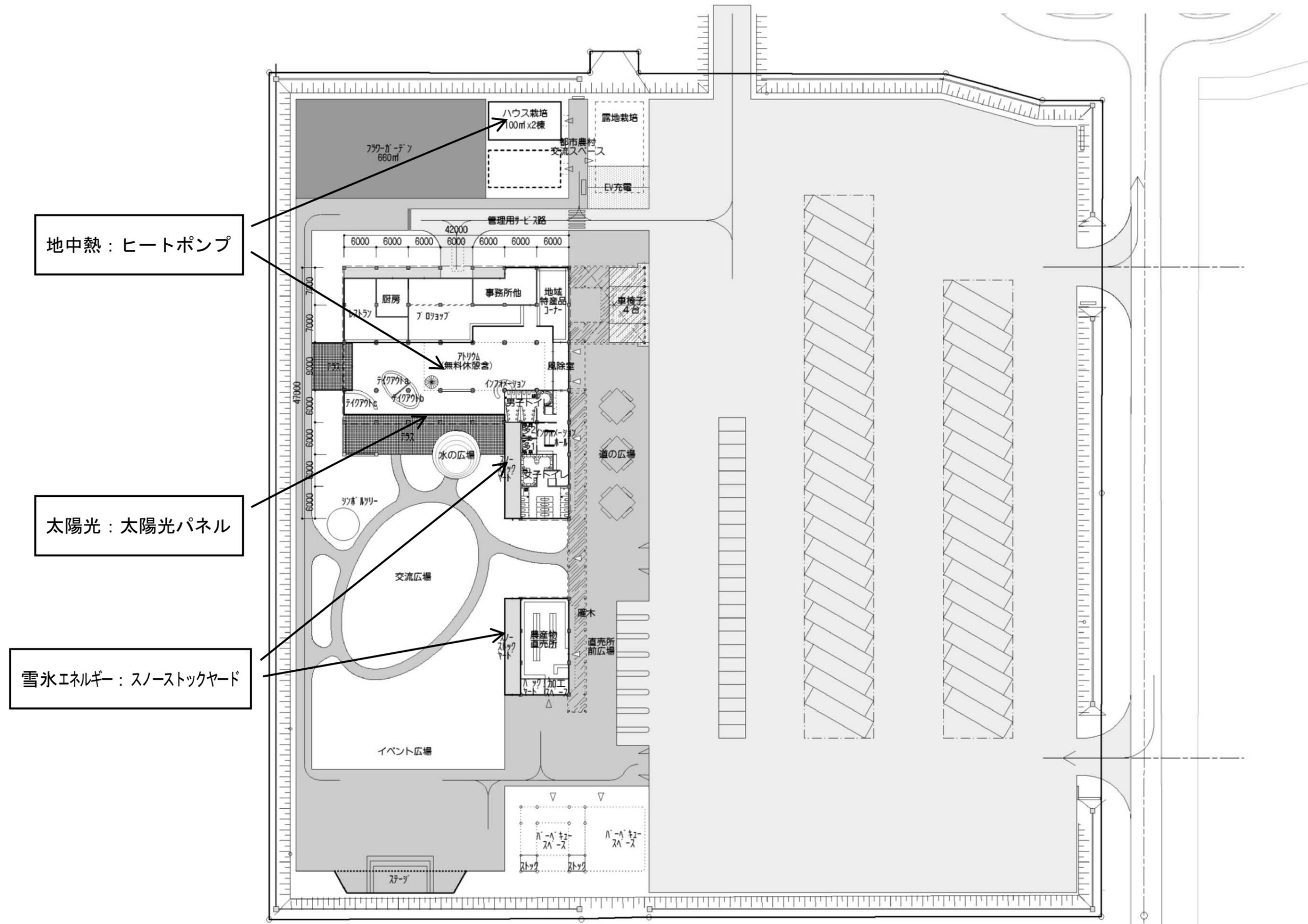
- ・風を緩和するため、またランドマークとなる植栽
- ・周辺に見られる「耕地防風林」の主要な樹種であるヤチダモを中心とする植栽帯



##### 【ゾーンイメージ】

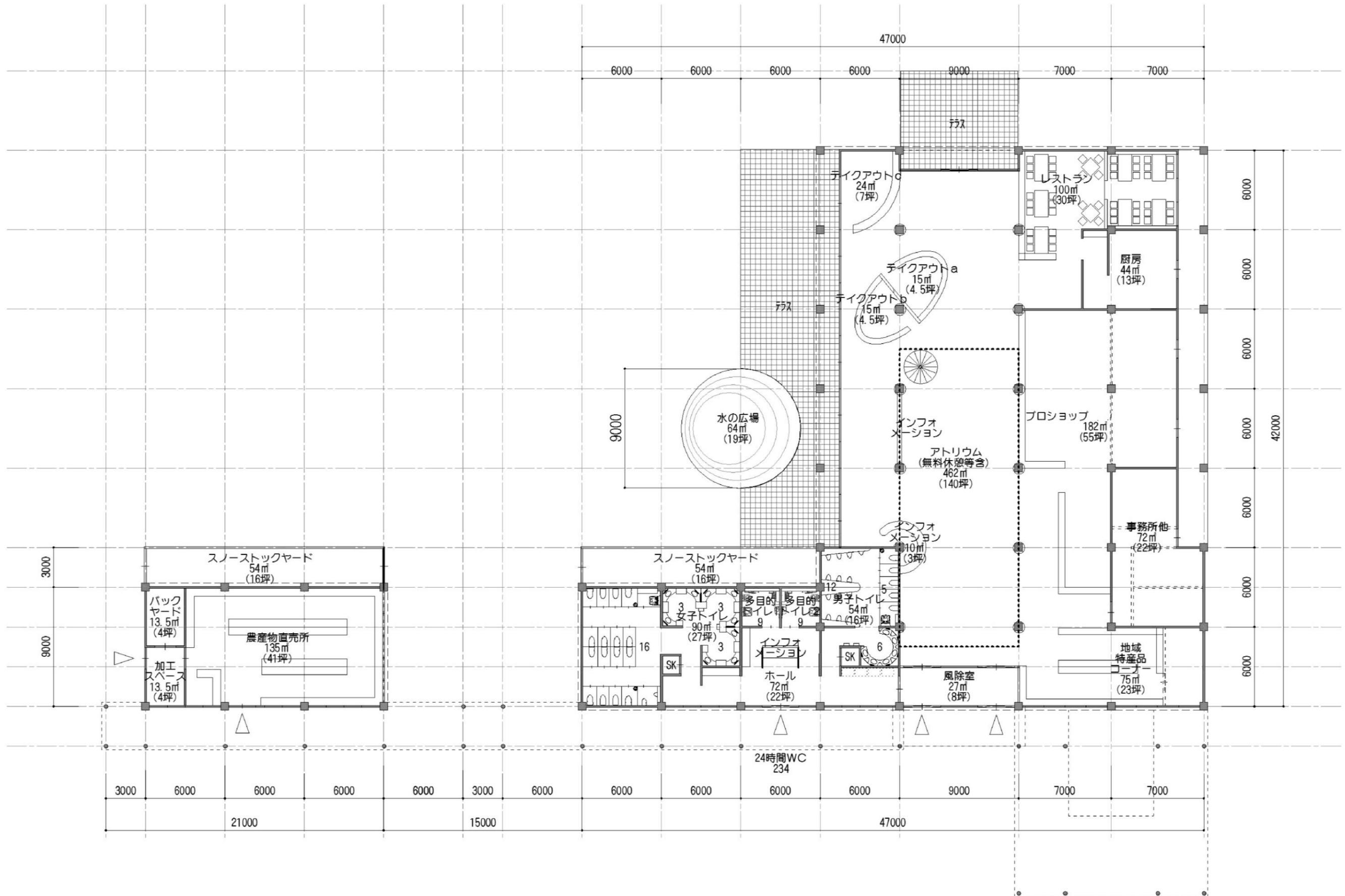


5. 配置計画図



(仮称) 当別町道の駅 配置計画図2 1/600

6. 平面計画図



(仮称) 当別町道の駅 平面図 1/250

7. 施設規模想定

表1 施設規模想定

項目	施設規模	備考
①24時間トイレ	162 m <sup>2</sup>	男子 54 m <sup>2</sup> 、女子 90 m <sup>2</sup> 、多目的 18 m <sup>2</sup>
②情報コーナー	82 m <sup>2</sup>	
③アトリウム・ 無料休憩コーナー	400 m <sup>2</sup>	
④飲食コーナー	144 m <sup>2</sup>	
⑤テイクアウト	54 m <sup>2</sup>	
⑥地域特産品コーナー	75 m <sup>2</sup>	
⑦プロショップ	182 m <sup>2</sup>	
⑧事務所他	72 m <sup>2</sup>	
⑨通路等	79 m <sup>2</sup>	
道の駅本体小計	1,250 m <sup>2</sup>	
⑩農産物直売所	162 m <sup>2</sup>	
⑪雁木	144 m <sup>2</sup>	
⑫車イス駐車场上屋	138 m <sup>2</sup>	
⑬バーベキューパーゴラ	108 m <sup>2</sup>	
⑭ステージ	50 m <sup>2</sup>	
⑮ビニールハウス	200 m <sup>2</sup>	
建築施設小計	802 m <sup>2</sup>	
⑯イベントスペース (イベント広場・交流広場)	3,000 m <sup>2</sup>	
⑰フラワーガーデン	660 m <sup>2</sup>	
⑱都市農村交流スペース (ビニールハウス・体験農場等)	625 m <sup>2</sup>	
⑲道の広場	690 m <sup>2</sup>	
その他	3,932 m <sup>2</sup>	
外構小計	8,907 m <sup>2</sup>	
合計	10,959 m <sup>2</sup>	

8. イメージパース



